

# ノビネチドリ

*Gymnadenia camtschatica* (Cham.) Miyabe et Kudo

ラン科

石川県カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類

国カテゴリー

該当なし

## 選定理由

やや稀産の植物であるが、花は美しく、山地帯に生育して採取されやすい。(現況:RO)

## 形態

本県にはテガタチドリ属植物として本種のほかテガタチドリ、ミヤマモジズリの3種を産するが、いずれも絶滅危惧植物である。本種は唇弁を除く花被片は互いに離れて、ミヤマモジズリのように兜状になることはない。また、唇弁は単一である。葉は楕円形～狭楕円形で、縦に折り目があり、縁は波状にちぢれる。根は円筒状に肥厚するが掌状にはならない。茎は高さ30～60cm、淡紅紫色の花を多数着ける。距は子房より短い。

## 国内分布

北海道、本州(中部以北)、四国、九州(宮崎県:現状は不明)、さらに樺太、カムチャッカ、朝鮮に分布。

## 県内分布

奥能登、口能登・加賀中央部、南加賀区の白山麓。

## 生態など

地生の多年生草本。開花期は5～7月。

## 生育環境

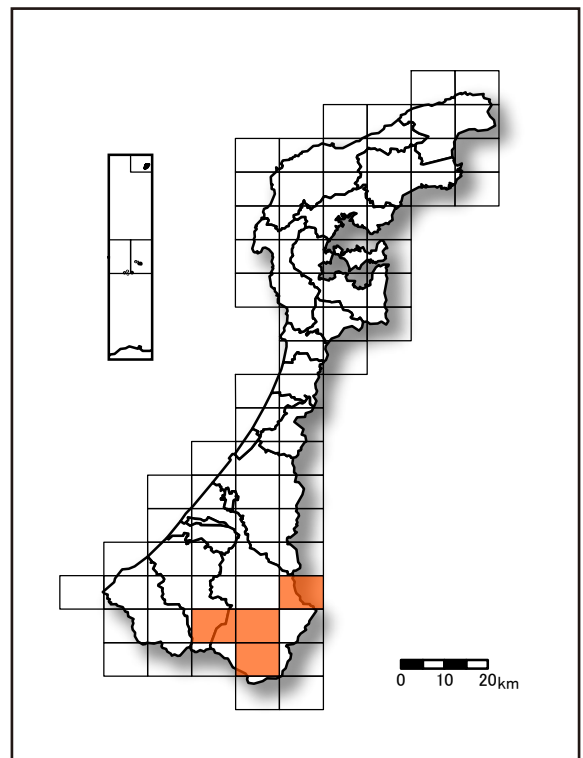
湿った夏緑樹林の林床、溪畔。

## 危険要因

道路工事、園芸採取。



林 二良・1994年5月29日・白山麓



県内の分布